

社会福祉法人くるみ保育園
くるみ保育園 様

平成30年度 福祉サービス第三者評価 結果報告書

1. 基本情報
2. 横浜市福祉サービス第三者評価結果（総括）
3. 横浜市福祉サービス第三者評価結果
4. 利用者本人調査
5. 利用者アンケートの特徴
6. 利用者アンケート調査結果

福祉サービス第三者評価機関
株式会社R-CORPORATION



基本情報

施設名	くるみ保育園
所在地	横浜市泉区下和泉 5-18-15
電話番号	045-802-0972
評価年度	平成 30 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 30 年 4 月 21 日～ 平成 30 年 7 月 21 日	各グループに分かれての話し合い。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 30 年 9 月 3 日 平成 30 年 9 月 4 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認および園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行いました。乳児、幼児の食事の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 30 年 7 月 2 日～ 平成 30 年 7 月 20 日	園から保護者へ配付し、園の玄関に置いていた回収箱に投函してもらった。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 30 年 9 月 3 日 平成 30 年 9 月 4 日	1 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめた。

第三者評価結果報告書

《総括》

対象事業所名	くるみ保育園
経営主体(法人等)	社会福祉法人くるみ保育園
対象サービス	保育所
事業所住所等	横浜市泉区下和泉 5-18-15
設立年月日	昭和 39 年 9 月 1 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

《総合評価》

【くるみ保育園の立地・概要】

●くるみ保育園は、地理的には旧大船ドリームランドの北側、旧米軍通信隊跡の西側に位置し、旧かまくら道「萩丸」バス停から西に折れ、「下和泉」バス停下車徒歩10分程度の、まだ畑や雑木林、竹林等の自然が多く残る住宅地の中にあり、近年、住宅地の開発が徐々に進んできている地域です。くるみ保育園は昭和39年に設立した伝統ある保育園であり、園舎は古き良き日の安心感を与える木造平屋建てで、広い園庭には四季折々の豊かな木々・草花が咲き、落ちついた穏やかな空気の流れる雰囲気醸しています。次世代への園長交代があり、前園長のご退任と創立50周年を記念して園の門扉、園庭の改良が図られ、水はけの良い園庭に生まれ変わりさらに、遊び場の増設を行い、子どもたちの楽しい遊び場が完成しています。

●くるみ保育園は、地域と一緒に手を携え、大家族のような体制作りを行い、子どもを「伸び伸びと育てる」ことをモットーとして運営しています。地域の自治会、保護者会（父母の会）等の交流を大切にし、地域の盆踊りに園庭を提供し、地域と一体となって園作りに取り組んでいます。園舎内は園庭を正面に、廊下、中庭を挟んで左右に2棟と南側の園庭ベランダに沿って設けられた棟が3方向に構成され、4歳児の保育室はホールが設置された大きい保育室を活用し、ホールも活用しながら遊べる構造は特徴的です。2階には会議室、職員の休憩室を設け、2階から眺める開放感溢れる景色は職員の気分転換の一役にもなっています。定員は130名であり、保育室は、0歳児、1歳児、4歳児が1クラス、2歳児、3歳児、5歳児は2クラスを設けて運用しています。園庭は、自然と広さを生かし、「くるみランド」（滑り台等のある大型屋外遊具）、ブランコ、鉄棒、砂場、築山等が設置され、子どもたちは伸び伸びと十分に遊び回り、遊具を収めた大きな格納庫から自由に好きな遊具を出して楽しく遊んでいます。

【くるみ保育園の方針】

●くるみ保育園の理念は、「心に太陽を唇に歌を」を謳い、温かい雰囲気の中で、たくさんの遊びと数多くの体験を提供し、丈夫な身体と豊かな心を育む保育を実践しています。広い園庭、明るい園舎で子どもたちと保育士は一緒になって楽しく過ごし、日常的に、お話や絵本、紙芝居、お絵描き等で創造力・感性を養い、園児で俳句を作ったり、リズム遊び等で楽しく表現力を培っ

ています。保育内容では、生命の保持・情緒の安定の「養護」の分野、健康、人間関係、環境、言葉、表現、食育の教育の各分野の保育を進め、子どもの発達段階に応じて保育目標や指導計画を立案し、それらに基づいた一貫した保育を実施しています。特に、月例差の大きい0歳児、1歳児、2歳児については、一人一人の発達に応じたゆるやかな支援計画を立てて日々の保育にあたっています。

《優れている点》

1. 【発達に応じたプログラムの推進】

●くるみ保育園では、乳・幼児の生活の場である保育園として、健全な子どものあるべき姿である「動く」、「食す」、「休む」を着実に繰り返し、小学校就学時に全ての活動、指導計画が完結するよう年齢および個人の発達に応じたプログラムを作成して実施しています。自然に恵まれた環境、温かい地域の方々や保護者会（父母の会）に見守られる中で、様々な遊びと数多くの体験を通して丈夫な身体と豊かな心を育み、子ども一人一人が個性を持ち、人間として魅力のある子どもの育成に尽力しています。

2. 【大家族制の中で子どもを伸び伸びと育てる】

●くるみ保育園では、地域の複数の自治会と交流を図り、地元の盆踊りには園庭を開放し、夏には地域のラジオ体操にも提供し、伝統ある保護者会（父母の会）の支援により、定員130人の園児は地域の方々と共に大家族のような生活を満喫しています。昨今、不審者等に対するセキュリティ重視のあまり地域と隔離された保育園が多い中、くるみ保育園は地域との一体感があり、コミュニティを確立し、子どもたちは大人との信頼関係を学び、伸び伸びと育まれています。

《さらなる期待される点》

1. 【保育所の専門性を活かした相談機能】

●くるみ保育園は50年余りの歴史を重ねた由緒ある保育園であり、子育て支援の中には長年培った多くのノウハウが蓄積されています。地域とも活発に交流を図り、地域に溶け込んだ地域密着型の保育園として実績も多くあります。ただし、これまで地域と親密に培った実績はあるものの、蓄積された保育のノウハウを地域の子育てに活用できているかという疑問が残ります。特に、若い核家族の世帯がこの地域でも増えてきていることを考え、専門家のアドバイス、保育園の資源が必要です。保育園の保護者のみに留まらず、地域の母親等への子育ての教え、定期的な子育て相談を実施する等、一層、くるみ保育園の取り組みに期待いたしております。

横浜市福祉サービス第三者評価結果

第三者評価受審施設 くるみ保育園	
評価年度	平成 30 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

<評価領域>

I	利用者本人（子ども本人）の尊重	II	サービスの実施内容	III	地域支援機能
IV	開かれた運営	V	人材育成・援助技術の向上	VI	経営管理

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類 1-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成

評価



評価の理由（コメント）

●くるみ保育園では、保育の指標に「心に太陽を 唇に歌を」とし、温かい雰囲気の中で、たくさんの遊びと幾多の体験を提供し、丈夫な体と豊かな心を育むことを狙いとして保育にあたっています。職員に対しては、原則、掲示は行わずパート職員を含む全職員に配付して周知を図り、毎月 1 回土曜日に職員会議を兼ねた「職員研究会」を実施し、指標に沿って子どもの様子を職員間で話し合いを行っています。保護者については、4 月に保護者総会、保護者会(父母の会)で話をして周知しています。

●全体的な計画は、保育の指標に沿って作成し、保育姿勢として①子どもの発達段階と安全を考慮しながら、充実した活動ができるように環境を整える。②一人ひとりの個性と人権を尊重し、愛情をそそぎ、子と親との信頼関係を築く。③すべての職員が必要な情報を共有し、率直に意見を出し合い、専門性を発揮しながら相互に理解し合うとともにチームワークや他機関との協力を大切にする。の 3 項目を掲げ、子どもの最善の利益を第一義に取り組んでいます。くるみ保育園が所在する地域はコミュニティが残っており、泉区役所主催の地域子育て支援「いずみっこひろば」に参画しています。

●保育課程が革新された「全体的な計画」に基づき、年齢ごとに指導計画を作成しています。指導計画の展開については、わかる子どもには説明を行い、言語化できる子どもから意見・要望を聞き、言語化できない子どもの場合には表情等から意思等を汲み取り、保育に組み込み柔軟に対応しています。くるみ保育園では、保育で使用するイス、机に関して、子どもの年齢、体格に合った家具の大切さ、個々の子どもに合った選定を必要と考え、適宜、変更して子どもが落ち着いて過ごせるよう配慮しています。

評価



評価の理由（コメント）

●入園説明会に子ども同伴での来園をお願いし、保護者と個別に面談を行っています。子どもの様子や家庭の状況の聞き取りを行い、面談時に子どもが遊んでいる様子を観察し、受け入れの際の情報として職員間で共通認識を図っています。また、児童票を保護者に手渡し、入園式の日持参してもらっています。個別ファイルは事務所内の施錠付き書庫に保管し、必要時に閲覧できるようにしています。

●新入児の受け入れに際して短縮保育を実施し、子どもの状況と保護者の就労状況に合わせて柔軟に対応しています。0歳、1歳児の保育については、総合的に副主任を中心に、全職員で保育にあたる体制を整備し、子どもとの愛着関係の構築に努めています。保護者との連絡では、0歳児は複写式の連絡帳を用意して連携を密に図り、1歳児以降はおたより帳を活用しています。おたより帳で特に伝言がある場合は、連絡メモを添付するようにしています。入園後は、降園時等に園での子どもの様子を保護者に伝え、児童票等を活用しながら保護者と連携を図っています。

●指導計画については、年齢別の指導計画を策定し、毎月の月案については個別に月案を用意しています。0歳児～2歳児は個別指導計画を作成し、3歳児以上はクラス別に月間指導計画を作成しています。指導計画の策定では、低年齢児は複数担任によりクラス会議で検討を図り、幼児は担任制にて幼児会議を開催して意見交換を行い、必要に応じて園内研究会を開催してケース事例を確認し、共有を図っています。保護者の意見・要望については、行事ごとのアンケート、父母会の意見、常日頃での要望等を把握し、計画に反映させるようにしています。例として、幼児の合宿時の食事内容について保護者間で設定してもらい、まとめた内容を園で受け取り提供する等、意見を反映させています。

●0歳児については、いつでも子どもの様子を把握できるよう保育室を事務所隣に配置し、すぐに手伝いや応援ができるようにしています。また、子どもの表情や喃語、一人一人の生理的・心理的欲求に配慮し、十分に体を動かせる空間作りや、月齢に応じた玩具や絵本等を揃え、0歳児に合わせた整備を行っています。

●1歳以上3歳未満児の保育については、「自分でしよう」とする気持ちを大切に、一人一人の体の状態、情緒、食欲等、日常の状態の観察を行いながら、子どもたちが探索活動ができるよう、活動しやすい環境を整備しています。遊びでは、2つくらいのブロックを設けて友達とのかかわりを保育士が仲立ちをしながら楽しく遊べるよう配慮しています。また、くるみ保育園は園庭が広く、伸び伸びと全身を使った遊びができる環境を整え、子どもの健康状態に留意しながら、室内遊びや午前睡を行う等、体調管理にも努めています。

●3歳以上児の保育について、3歳児は集団の中で安定した遊びを中心とした活動を行い、4歳児は集団の中で自分の力を発揮し、友達と一緒に楽しめる活動を推進し、5歳児は集団の中で一人一人の個性が生かされ、友達と協力して1つのことを成し遂げる活動を意識して保育を実施しています。室内遊びも様々な遊びが展開できるよう年齢に応じた玩具を用意しています。くるみ保育園では、7月23日～8月23日間は夏休み体制を設け、お盆には異年齢で合同保育を実施しています。職員については、土曜日の体制としてA～Dの4交代体制を設けて対応し、保育日誌には毎日の自己評価を記載して共有しています。

評価



評価の理由（コメント）

●施設環境について、保育室は全て1階に配置し、毎日、園内外の掃除を丁寧に行い、園の庭地も整理整頓が成され、清潔を確保しています。園庭には大きな銀杏や桜の木々が植栽され、開放的な空間と四季折々の草木の自然を生かした環境作りが成されています。くるみ保育園の開設50周年記念に合わせ、「心に太陽を」をモットーにした象徴の「お日様マーク」の門扉を設置し、建物の耐震工事を行い、園庭は水捌けの良い土質に改善し、固定遊具の充実を行い、砂場の日除けテント等も設置し、子どもが快適に生活しやすい環境を整えました。各保育室は陽光が十分に入り、空調はエアコンの活用と適宜、自然換気を行い、良好な環境を提供しています。音楽や保育者、子どもの声等については、行事の前には近所に手紙でお知らせし、了承のお願いをする等、配慮しています。

●沐浴設備、温水シャワーを設備し、設備の管理および清掃を十分に行い、定期的に業者に依頼してメンテナンスをしています。

●低年齢児には、小集団保育が行われるよう保育室の使い方を工夫し、特に、1歳児の保育室は小集団保育の他、完全な寝食分離が行える構造になっています。幼児は3歳齢で5つの部屋を使用し、定員の多い2歳齢が各々2つのクラスに分かれ、少ない年齢のクラスが一番大きい保育室を使用しています。今年度は、3歳児が「ゆり組」と「ばら組」に分かれ、5歳児は「さくら組」と「もみじ組」の2クラスとし、食事と午睡は異年齢で行い、寝食を区別しています。

評価



評価の理由（コメント）

●3歳未満児については個別指導計画を策定し、幼児についても発達上の課題や、特別な配慮を要する子どもは個別指導計画を作成しています。計画はクラス担任間で共有を図り、毎日のミーティングや保育会議で振り返りを行い、発達状況に合わせて経過票、療育の記録等により柔軟に変更・見直しを行い、職員間で共有しています。保護者とは「お知らせ」を活用して密に連携を図り、変更、見直しを進めています。

●子どもや家庭の個別の状況・要望は、定めた書式（児童票・保健票等）に入園後の子ども一人一人の成長・発達を記録しています。記録内容は毎日、「報告会」を実施し、職員間で共有を図り、重要な申し送り事項は記録をして進級時の引き継ぎに生かすよう継続して記録しています。また、4歳児以上は園独自の評価票を設け、転園児や転園先から要望があれば保護者の了解を得て情報を伝えられるようにしています。卒園時には就学先の小学校に保育所児童保育要録を作成し、送付しています。泉区では、小学校に幼保小の専門委員を配置し、就学先の小学校から聞き取り調査に来園し、情報交換を行っています。就学を見据え、年長児は小学校5年生と交流し、慣れる機会を設けています。

評価



評価の理由（コメント）

- 配慮を要する子どもについて個別にケース会議を行い、会議録を残して共有を図り、横浜市や戸塚地域療育センター、関連書籍により得た最新情報を基に学習し、保育に生かしています。また、保健所、横浜市戸塚地域療育センターと連携し、保護者も交えて話し合った結果は「研究会」で共有を図り、記録に残しています。
- 障害児保育のための環境整備では、園舎内はバリアフリー等の設備は無く、障害者用トイレの設置もされていませんので、バリアフリー等については今後の一考を期待いたします。現在、障害児の受け入れはありませんが、過去に実績があり、障害の特性を考慮した特別指導計画を策定し、全職員で共有を図り、他の子どもとのかかわりに配慮し、一斉活動が難しい場合は個別に別室で活動を行う等、保育の体制を整備し対応した実績があります。
- 虐待防止と早期発見については、マニュアルを備え、マニュアルに基づきプロとしての自覚に立ち、行うべき行動の確認と共に、登園時、毎日の視診で早期発見に努めています。また、子どもの様子や持ち物、衣類に留意し、日々の報告でも周知・共有を図り、職員間で声かけを行い、見守るようにしています。相談の窓口は、担任、主任、副園長としています。
- アレルギー疾患のある子どもの除去食対応では、かかりつけ医の指示を基に保護者と密に連携を図り、除去食の対応をしています。全職員にはアレルギー疾患の必要な知識や情報を提供して徹底しています。給食時では、色違いの別トレイに除去食プレートを添付し、別調理された（おやつを含む）食事を調理師、保育士の複数で確認し、誤飲誤食がないよう徹底しています。園では、職員、子ども自身、他の子どもたちにも周知し、全員で理解して配慮するようにしています。
- 文化が異なる外国籍の子どもへの対応では、入園時の面談で言語、表現、食事（宗教食等）、生活習慣を保護者に確認し、状況に応じた対応を行っています。くろみ保育園では、過去3年間、外国籍に係る子どもの受け入れはありませんが、外国籍の保護者については、送迎時のコミュニケーションを大切にし、配付物等にはルビを振る配慮の他、英語を話せる職員も在籍し、意思疎通が図れるよう努めています。

評価



評価の理由（コメント）

- 保護者からの苦情等に関しては、入園のしおり（重要事項説明書）に、第三者委員の名前と電話番号等を明示し、第三者委員とは常に連携を図り、入園説明会で第三者委員についての説明を行い、周知しています。保護者の意見は意見箱、懇談会、行事等のアンケートから積極的に要望・苦情等を吸い上げるようにしています。
- 要望や苦情等を受けた場合は、第三者委員を交えて対応する仕組みを整えています。園単独で解決困難なケースについては、外部の権利擁護機関（児童相談所等）や相談機関（泉区役所等）と連携を図り、体制を整備して

います。受けた苦情等は、マニュアルに沿い、職員会議で検討および対策を話し合い、速やかな対応に努めています。苦情等の経過・検討・対応結果は記録に残し、アンケートでの声をまとめ、再発防止に役立てています。

評価領域Ⅱ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類Ⅱ-1 保育内容 [遊び]

評価



評価の理由（コメント）

- 子どもが自発的に活動できるよう、玩具、教材等は、子どもが自分で自由に出して遊び、子どもの要望に応じて玩具を提供する等、満足して遊べるようにしています。保育室では、ブロックのコーナーやおままごとのコーナーを状況に応じて設定し、子どもたちは自由に遊んでいます。広い園庭には各種固定遊具、外用の遊具を揃え、自然の樹木や、登ったり下りたりして遊べる築山等があり、伸び伸びと好きな遊びができる環境を整備しています。
- 集団活動では、子どもの自由な発想や意見も遊びに取り入れながら、基本はルールを守る教育を中心に行っています。外部のスポーツクラブの講師を依頼し、3歳、4歳、5歳の年齢に応じて「くるみっこ活動」として巧技台運動を実施し、運動会、発表会は日常活動の集大成として披露しています。運動会では昭和43年から園の伝統演目として5歳児の「ワンパクマーチレース」（巧技台、平均台等を組み合わせた100mのレース）を行い、くるみっこ活動での成果を発揮しています。
- 一斉活動や自由遊びの時間は、一斉活動に偏らないよう配慮し、年齢に応じて自由遊びを中心にカリキュラムを組んでいます。子どもたちは個々に遊び込める環境の中、自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人遊びをする等、集中して遊んでいます。一斉活動では、友達関係やルールを守る等の社会性を重視したスポーツ専門カリキュラムを通して、友達を推さない、全員が園庭に出ている時にはボール遊びをしない等、ルールや決まりを伝えています。交通安全のルールに関しては、泉警察署に来園してもらい指導を受けています。また、消防署にも来園願ひ、指導を受ける機会を設けています。
- 栽培について、園庭には季節の木々や草花がたくさん植栽され、植物の名前がわかるように工夫しています。園庭の畑ではプランターで野菜を栽培し、成長の経過を観察し、収穫した野菜は観察画を描いたり、野菜を洗う等、実際に触れる機会を持っています。飼育では、カブト虫を飼育したり、園庭の木々にくるセミを取ったり、豊かな自然の中で生き物への愛情と命の大切さを学ぶ体験をしています。散歩や園外活動では、身近に四季折々の自然に触れ、定期的に老人ホームの高齢者と交流も行っています。
- 自由表現の遊びでは、歌やリズム、絵や文字、体を動かす等の体験を通して、子ども一人一人が気持ちを自由に表現できるよう取り組んでいます。ロッカーには個人の自由画帳を有し、クレヨンと自由画帳を使って自由に絵を描き、廃材等も使えるように備え、想像力、発想力を大切に子どもが自由に表現できる環境作りをしています。園では作品展を実施しており、たくさんの素材を常に準備しています。また、毎週火曜日と木曜日には定例の集会を実施し、天候の良い日は園庭で子どもと一緒にマイムマイム（フォークダンス）を踊り、みんなで楽しく表現する機会を設けています。
- 子ども同士のケンカの場合は、保育士は過度の制止はせず、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決できるよう促し、互いの思いを受け止めながら年齢や発達状況に応じて保育士が仲介する等、状況を見極めて援

助しています。園では、子どもを「褒めて育てる」ことを大切に考え、保育を進めています。異年齢交流では、午前中はクラス単位で行い、午後は異年齢で活動しており、定員に応じた年齢ごとのクラス分けや保育室の活用等、工夫をして保育士に余裕を作り、早く帰るなどのローテーションが可能になるようにしています。

●園の特徴の1つである広い園庭で、子どもたちは伸び伸びと自由に駆けたり跳んだりして存分に体を動かし、広い園庭の木陰や小鳥のさえずり、セミの声、四季の風景等で感性を育み、心身共に健康に園生活を送っています。子どもの健康状態は、その日の登園の健康状態を把握し、個別の既往歴から対応できるようにし、室内遊びや安静に過ごせるよう配慮しています。日差しの下での遊びでは水分補給の大切さを伝え、外遊び時や夏季のプール遊び時には遮光ネットを張り、帽子を被り、日焼けおよび紫外線対策を行っています。お散歩では近くの藪に竹の子を見に行ったり、下和泉ふれあい公園に行き遊び、散歩途中で地域の人に逢えば挨拶をして良好な関係を築いています。

評価分類Ⅱ-1

保育内容 [生活]

評価



評価の理由 (コメント)

●食事については、「残さず食べる、偏食はしない」を推進していますが、無理強いをせず、子ども個々の好き嫌いやその日の体調等を考慮しながら対応しています。また、苦手な食材や量を個々に把握し、盛り付け時に減らす等、完食できるよう配慮しています。苦手な食材(野菜等)については、他のクラスが栽培した野菜を紹介して身近に感じるように話したり、自分たちで収穫した野菜に興味を持って少しでも食べてみようとする意識付けや、食べる楽しさを伝え、苦手意識を克服できるよう工夫しています。食事を楽しむ機会としては、幼児のお泊り保育を実施し、食事では減らし皿は行っていませんが楽しい雰囲気の中、子どもたちは残さず食べています。箸の使用開始については、子ども一人一人の状況を見ながら無理なく進めています。

●季節感のある献立の工夫では、例えば5月には「鯉のぼりご飯」を提供して子どもたちが楽しめるように工夫しています。また、季節行事の行事食やお誕生会日の特別メニュー等も提供し、食事が楽しみとなるよう工夫しています。食具等については、年齢に応じた大きさ・重さに配慮し、食器は大倉陶苑の特器を採用し、硬質磁器を使用しています。離乳食は、副主任が入園時に詳細に説明を行い、家庭と連携しながら提供しています。

●献立は、栄養士が年間の献立を作成し、おいしく楽しい食事となるよう子どもの好む食材、味付けを工夫し、旬の食材、素材の風味を生かし、園の伝統の味付けを継承して提供しています。栄養士は日々の喫食状況を確認し、栄養バランス、子どもの好みを捉えた味付け、刻み方等を工夫しています。盛り付けは子どもに合わせてやや少なめの盛り付けとし、お代わりができるように工夫しています。保護者へは、事前に月間献立表を配付し、食材、調理法、献立作成のポイントについて記載し、家庭での食育につなげています。また、年長児の保護者対応にお誕生会の日に試食会を実施し、園の食事の味、量、盛り付け等の理解につなげています。試食会でのアンケートの意見も献立の参考にしています。今後、試食会については検討の幅を持ち、多くの保護者への理解につなげる機会を思案しています。

●栄養士は、各年齢に応じたカロリー、食品群を計算して提供し、盛り付けは厨房で年齢ごとに行い、多すぎると思う子どもは申告制で減らすようにしています。園では、お代わり用の食事を別途用意することはせず、基本分量から減らした分量をお代わり用として取り置き、ほぼ毎日、残食0%の状態だそうです。

●午睡については、0歳児、2歳児、4歳児は同じ保育室で寝食を分けて午睡を行い、1歳児は保育室に工夫された構造上、寝食が分離されており、3歳児（2クラス）と5歳児（2クラス）はそれぞれ異年齢で食事と午睡の場所を分けて午睡を行っています。SIDSの予防では、0歳児は5分ごと、1歳児は10分ごとにブレスチェックを実施し、他年齢児も視診、触診をして見守りを行っています。午睡中はオルゴールのCD（又はMD）を流してゆったりと安心して入眠できるよう配慮しています。5歳児については、就学を見据え、1月～3月は机を学校形式にしてテーブルにうつぶせで仮眠する等、体制を整えています。

●トイレトレーニングでは、個人差があることを十分に理解し、保護者と連携を図り、一人一人のリズムを捉えながら進めています。トレーニング中の子どもについては会議で情報を共有し、担任以外の職員も協力体制で補い、トイレに並んでいる時も声かけを行う等、連携体制が取れています。排泄に失敗した時は、子どもの羞恥心に配慮し、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、全職員が認識し、プライバシー確保にも留意しています。

評価分類Ⅱ-2

安全管理 [健康管理]

評価



評価の理由（コメント）

●健康管理では、マニュアルを備え、保護者から子どもの必要事項が記載された健康台帳を基に子ども一人一人の健康状態を把握しています。毎朝、連絡帳、口頭で家庭での子どもの様子、健康状態を把握し、子どもに変化が見られる場合は検温を行い、事務室に結果を報告して対応しています。園での健康状態は保護者に必ず伝えるようにしています。既往症については、入園時の健康記録を基に継続的に保護者から報告を受け、職員間で共有を図り、日々の保育で留意しています。歯の健康に関しては、「虫歯なし」、「虫歯あり」、「永久歯の虫歯あり」の3点のみを確認し、歯科検診の際に歯科医と連携しています。歯磨きは、3歳児の後半の年明けから開始し、家庭での管理、啓蒙を行っています。

●年2回、園医による健康診断、歯科検診を実施し、健診結果は記録し、保護者にも知らせています。通院が必要な家庭については書面にして渡し、かかりつけ医で治療をしてもらうよう促しています。

●感染症等について、入園のしおりに感染症停止基準や感染症の疑いが生じた場合の対応を明示し、入園時に保護者に説明しています。感染症が園内で発症した場合は、お知らせするホワイトボードを設定し、速やかに保護者に状況報告の掲示を行い、罹患児童は別室に隔離対応し、園内拡散を未然に防ぐようにしています。地域の流行・最新の感染情報については、行政機関から入手し、玄関入り口に情報を掲示して注意喚起を行い、職員へも周知を図っています。

評価



評価の理由 (コメント)

●衛生管理は、マニュアルを完備し、入職時の研修の他、年2回衛生管理の研修を実施し、全職員に周知を図り、確認しています。トイレや保育室、共用部等はマニュアルに基づいて清掃を行い、全ての玩具はマニュアルに則り、消毒を実施して衛生的に保っています。ノロウイルス対策では各クラスに吐瀉物処理セットを備え、職員は使い方を習得しています。ただし、定期的な見直しについては十分でない面があり、今後改善を図る予定でいます。

評価



評価の理由 (コメント)

●安全管理では、理事長、園長は、毎朝、園の外回りの掃除を兼ねて門扉、遊具等の点検を行い、職員は担当保育室の点検、管理を行っています。保育室や事務室の家具、備品等には滑り止めを取り付け、備品等の落下、転倒防止を講じています。災害時等に備え、月1回、様々な場面を想定して防災訓練を実施し、地震の際は園庭に留まることも想定して訓練を行っています。地域の防災訓練にも職員が参加し、協力要請も行い、体制の整備に努めています。

●事故やケガにおける対応法については、速やかに保護者に連絡を行い、医師と連絡を密に図り、事故報告書には漏れ・誤り等が生じないように記録し、緊急時の適切な対応体制を整えています。園内でケガが発生した場合はすぐにヒヤリハットに記載して管理を行い、再発防止に努めています。保護者へはケガの軽重にかかわらず連絡および説明を行い、首から上のケガについては、かかりつけ医の確認と通院の了承を得て必ず通院を促しています。事故で通院を伴った場合には、泉区役所へ事故報告書を作成して報告をしています。夏季のプール遊びでは監視員を配置し、プールに入って見守る職員も決めて事故のないよう十分に留意しています。

●外部からの侵入に対しては、園の扉は施錠し、インターホンを設置して来訪者の確認を行っています。毎年の防犯訓練では職員がランドセルを背負って不審者対応の訓練の寸劇等を行い、子どもたちへ啓蒙しています。不審者等の情報については、地域から入手していますが、全職員への伝達・周知は十分とは言えない面もあり、今後、防災訓練の見直し、外部から侵入した場合の不審者撃退法や撃退グッズ、緊急時の合言葉の設定等、また、侵入経路、避難体制の確認等の強化に期待されます。

評価



評価の理由（コメント）

●職員は、子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視を行わず、穏やかにわかりやすい言葉で接し、子どもの気持ちや発言を受け入れ、子どもの人格を辱めるような罰を与えたり、自尊心を傷つけるような保育は行っていません。園の方針として、叱り方については、普段の保育者と子どもとの関係をしっかりと築いてから必要に応じて叱るようにしています。年長児には多少の厳しさを持って接し、4歳児以下のクラスの子どもには諭すように促しています。また、子どもの人権を尊重し、差別用語、子どものプライドを傷つける行為、声のトーン等に留意し、共通認識を図り保育にあたるようにしています。

●他児や保育者の視線を意識せずにごっこする場所として、廊下、エントランス、テラス、事務室等、子どもが一人で落ち着ける場所や、集中して遊べるよう配慮しています。1対1で話せる場所としては、子どもに威圧感を与えず、プライバシーを守れるよう必要に応じて場所を設定して対応しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、個人情報の取り扱いについてのガイドラインを備え、個人情報の管理・扱いについてガイドラインに沿って新任研修時に周知しています。実習生やボランティアに対しては、定義・目的について説明を行い、誓約書を交わしています。保護者に対しては、重要事項説明書で説明し、個人情報の取り扱い（肖像権）の確認を行い、理解を得ています。

●性差に関する配慮では、遊びや行事での役割、持ち物や服装等は区別することなく、順番、グループ分け、整列も区別はしていません。教材は、子どもの好みに合わせて自由に選択できるようにし、保護者についても、母親・父親の役割等、固定的に捉えた表現はしないようにしています。

評価



評価の理由（コメント）

●保育方針・園目標は、入園のしおり、パンフレットに明示し、入園時に重要事項説明としてくるみ保育園の方針・園目標の説明を行い、懇談会でも折に触れて説明し、園内にも入園のしおりを掲示して理解を促しています。また、園だよりに保育方針を記載し、日々の保育内容と共に伝えています。くるみ保育園の方針は、「心に太陽を、唇に歌を」を謳い、保護者は明るく、保育士は元気に歌を歌い、楽しい園作りを目指しています。全体的な計画の策定では、0歳児から2歳児は個人別目標を作成し、3歳児から5歳児はクラスの目標・月間目標を決めて保育を展開しています。行事ごとに保護者にアンケートを実施し、保育方針の理解を確認しています。

●園生活での子どもの様子や活動内容は、0歳児は連絡帳を活用して伝え、1歳児以上はおたより帳に手紙を挟んだり、伝達するメモを作成する等、様子を伝えています。メールでの発信も行っていきます。送迎時に口頭で伝えた場合は連絡専用ノートにチェックを行い、伝言事項を記載し、連絡漏れの無いよう体制を整備しています。

●個人面談・相談は、年間を通して随時個別に受け付け、事務室を活用して行き、プライバシーを確保できるよう

配慮しています。相談の時間は、基本的に16:00以降に設定し、面接者は基本的に担任と副園長または主任等の複数の職員で対応し、相談内容は記録しています。保護者の様子によっては、園から相談の機会を作るよう配慮し、必要に応じて継続的にフォローしています。

●園生活に関する情報は、定期的に園だより、クラスつうしんを発行して各クラスの様子を伝えています。その日の活動については、連絡帳、連絡ノート、送迎時に口頭でお知らせしています。また、保護者懇談会を開催し、日々の保育の様子や子どもの様子をビデオや写真でわかりやすく伝えています。

●くるみ保育園では保護者の参加行事を多く設け、出席率も良い状況です。行事予定は事前に日時をお知らせし、保護者が予定を立てやすいように配慮しています。保護者の保育参加・参観については、基本的には保育参観を主体とし、希望に応じて常に受け付け、3歳児～5歳児クラスは保育参観後に保育参加へと移行しています。保育参観、懇談会等に出席できなかった保護者に対しては、事務所でビデオを提供し、資料等は手渡しています。

●くるみ保育園では、保護者会（父母会）を設け、全保護者が加入し、納涼会やバザー（リサイクルバザー）、お泊り会にも協力してもらい、良好にコミュニケーションが図られています。父母会費は、独自に管理を行い、プレゼント等の費用に充てています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価



評価の理由（コメント）

●地域の子育て支援では、園庭開放、育児相談を実施しています。くるみ保育園では、これまで培ってきた保育・子育て等のノウハウを地域の子育てに悩む母親や、情報を得たい家庭、子どもとの遊び方がわからない母親等の育児相談に生かして適宜受け付け、支援を行っています。地域交流として、町内会の盆踊りに園庭を開放し、地域の老若男女、卒園児たちと楽しく交流を図っています。理事長は地域の名士であり地域に知り合いも多く、くるみ保育園は地域に密着した保育園として地域交流も活発に行っています。地域の子育て支援のニーズについては、主任児童委員、地区センター、卒園児や保護者等から情報を入手し、声や要望等を把握して参考にしています。また、神奈川県主催の研修会等から地域のニーズを把握し、幼保小連絡会議で地域の子育てニーズの情報を収集しています。得た情報は、職員会議で話し合い、職員間で共有を図り、子育て支援計画に反映させています。年長児は、幼保小の関連で小学校に訪問して交流を持ち、職員は、保育に関する講習への参加や泉区役所主催の地域子育て支援「いずみっこひろば」に参加する等、園全体で協力しています。

評価



評価の理由（コメント）

● 地域の保護者や子ども等に対する園の情報提供では、泉区の子育て情報サイト「いずみっこひろばうえぶ」、広報よこはま泉区版等に情報を掲載しています。相談事業については泉区の広報誌や、泉区のホームページに掲載され、園庭開放時の利用者にも情報を提供し、希望に応じて育児相談を受け付けています。また、各小学校にも園のお知らせを配付して知らせています。

● 関係機関や団体についてはリスト化し、事務所にファイルし、職員間で共有しています。関係機関や団体の窓口担当は園長とし、泉区役所こども家庭支援課並びに区の主催する園長会議、横浜市西部児童相談所、横浜市戸塚地域療育センター等と連携を図り、必要に応じて相談・助言を受ける体制を整えています。

評価



評価の理由（コメント）

● 地域への園の理解促進の取り組みとして、園行事（運動会、バザー、卒園式、作品展等）に各町内会長、地区内の中学校、小学校にも声をかけて働きかけています。地域との交流では園庭を開放して町内会の盆踊りを実施し、また、保育室を提供して卒園児や在園児の空手道場を行い、地域の方に指導を受ける等、地域一体となった活動を実施しています。施設開放や備品等の貸し出しでは園のテント、町内会のテント、ブルーシートなど相互に貸し借りが行われ、近隣と親密な関係を構築しています。

● 子どもと地域との交流では、従来から地域とのつながりも深く、地域の資源としてくるみ保育園は存在し、園の前を通る近隣の方々や地域の子どもたちと挨拶を交わし、交流を図り、職員、子どもたちは大きな声で挨拶をしています。地域の小中学校、他保育園、老人ホームとも交流を積極的に行っています。また、地区センターなど地域の文化施設を活用して地域の様々な人との交流を持っています。

評価



評価の理由（コメント）

●園の保育サービス内容・保育方針、園目標等の情報提供は、入園のしおり、重要事項説明書に園のサービス内容（保育方針、保育内容、通常開園時間、給食、保育日程表、準備用品、約束事）を詳細に明示し、保護者に提供しています。また、園のホームページ、泉区の保育園広報誌、ハローワーク、横浜市の「ヨコハマはびねずぽっと」等に掲載し、園の情報を発信しています。園見学者や来園者には必要な情報を提供しています。

●園見学に関する情報は泉区役所の案内で保護者へ周知され、利用希望者からの問い合わせについては、園長、主任が対応しています。園見学の日程については、利用者の希望に添って柔軟に受け入れるよう努め、平日の9時頃からの時間帯を勧め、園の活性ある保育、子どもたちの生き活きとした姿を見てもらうようにしています。

評価



評価の理由（コメント）

●ボランティアの受け入れでは、マニュアルを整え、副園長を窓口とし、マニュアルに沿って事前にオリエンテーションを行い、園の方針、保育目標、個人情報・守秘義務について説明を行い、理解を促しています。職員に対しては事前に周知し、受け入れ期間、業務内容等を知らせ、共通理解を図っています。ボランティアの受け入れでは中学生の職業体験を受け入れ、終了後はアンケートを実施し、参考にしています。

●実習生の受け入れは、副園長、主任が窓口となり、マニュアルに沿って事前にオリエンテーションを実施し、園の方針、保育目標、個人情報・守秘義務について説明を行い、受け入れています。実習生は1回に3人～5人程度受け入れ、実習生の実習課題に沿ったカリキュラムを作成し、1年生には保育全体を見てもらい、2年生以降にはクラスの希望、理由を聞いて受け入れ、成果に結びつけられるよう協力しています。実習終了最終日には担当職員等と気づき、意見交換を行い、意見は運営に反映させるようにしています。

評価分類Ⅴ-1 職員の人材育成

評価



評価の理由（コメント）

- 必要な人材の採用については、保育所運営に必要な人材構成、要員を把握して確保し、人材の補充については、十分な人材構成であるかを検討し、必要に応じて随時、補充する体制で運営しています。現在、入所児童数に対する職員数は確保されています。また、新制度の処遇改善2に沿って処遇を改善して行く予定であり、キャリアアップ計画に沿って進めていく予定にしています。
- 職員、非常勤職員の研修体制については、新任研修、外部研修、園内研修等でテーマ・内容を定めた研修内容を推奨しています。また、職員個々の希望に応じた研修に参加し、積極的に研鑽を図っています。研修受講後は、レポートを作成し、職員会議で報告を行い、全職員で知識・技術の共有を図り、保育に生かしています。
- 非常勤職員に関する人材育成では、定期的に園内研修を実施し、非常勤職員も含めて参加を促し、資質向上につなげています。実務にあたっては、実務年数等を考慮し、正規職員との組み合わせに配慮し、マニュアル、必要ファイルを開覧できるようにして必要情報・知識の共有を図っています。園長は、非常勤職員・職員間のコミュニケーションを図りながら円滑な業務につなげています。

評価分類Ⅴ-2 職員の技術の向上

評価



評価の理由（コメント）

- 保育士個々の段階に応じた技術向上に取り組み、年度初めに職員個々の必要課題を問い、日々の職務遂行を振り返り、年度末に一人一人の達成度の評価を行い、質の向上につなげています。また、園外・園内研修ではキャリアアップ研修 研究会を通して外部で習得した技術を発表する機会を設け、職員のスキルアップに取り組んでいます。
- 保育士の自己評価は、日々の実践の振り返りを行い、全体的な計画で意図した保育のねらいと関連付けて振り返りを実施しています。文章化できるように計画や記録の書式が定型化されています。振り返りについては、保育の振り返りおよび、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程等を重視して行っています。職員は、自己の実践を評価し、改善やその後の計画作成に反映させています。
- 保育所の自己評価については、保育士の自己評価表の中から課題を抽出し、保育所の自己評価につなげ、公表しています。具体的には月案レベルで毎月、研究会の中でクラスの様子等の振り返りを行い、月案の見直しを図っています。

評価



評価の理由（コメント）

●法人(保育所)の理念・基本方針に基づいて人材育成計画が成されていると共に、配置や昇進・昇給に関する人事基準を明確に定め、職員に周知しています。また、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度も評価基準の要因にしています。職員は、園のサービスの資質向上につながることを念頭に置き、自己管理目標に取り組み、自己の資質向上、目標達成に取り組んでいます。

●保育現場での権限の移譲については、各職員の職務を明確にして運用を図り、子どもと保護者の状況に応じて職員が自主的に判断できるよう可能な限り権限を委譲し、責任を明確化しています。業務改善については、職員から提案を募り、アンケートを実施して職員からの意見を吸い上げ、改善に努めています。園長は、職員個別に面談を実施し、職員一人一人の希望、意向、満足度等を把握し、職員がやりがいを持てる職場環境作り、より良い園作りに努めています。

評価



評価の理由（コメント）

●職員の守るべき法・規範・倫理等は、就業規則に明示し、入社時に周知徹底を図り、規定集はいつでも閲覧できるよう職員室に設置しています。経営、運営状況等の情報は社会福祉法人として積極的に公開しています。他施設で発生した不正・不適切な事案、事故事例等の情報は、特に、メディアで取り上げられた事象に関して園長から全職員に詳細を説明して啓蒙を行い、職員は意識ある行動と、守るべき規範について再確認しています。

●保育所の職務分掌、権限・責任を明確にし、職員に明文化した書面を配付しています。保育所における事務、経理、取引等については、内部監査を実施し、定期的に確認しています。外部の指導や指摘事項に基づき、経営改善を行っています。

●環境整備では、マニュアルを作成し、横浜市の条例に基づいてゴミ減量化や分別、リサイクル、省エネに取り組み、節電、節水を心がけ、子どもたちにも蛇口をきちんと閉めることを教えています。園庭には四季折々の木々・草花が植栽され、畑やプランターで野菜の栽培を行い、緑化促進を行っています。「心に太陽を」のフレーズには自然保護の考えも含まれ、保育に反映されるよう推進を図り、園全体で環境整備に取り組んでいます。

評価



評価の理由（コメント）

●理念・基本方針は明文化し、職員に配付して2月の研究会で読み合わせを行い、翌月の研究会で確認を行い、意識統一に努めています。保護者に対しては、理念・基本方針を園のしおりに明示し、入園説明会で園のしおりに沿って説明を行い、保護者会総会でも理解を促しています。また、園見学者にも理念・保育方針が明示されたパンフレットを手渡しています。職員については入職時の研修で説明を行い、理解度を折に触れ確認を行い、理念、方針が保育で反映されるよう意識統一に努めています。

●園長は、重要な意思決定にあたり、保護者からの情報、意見を把握し、クラス担任と連携の基、職員の役割分担を決定し、保育課題の解決に取り組んでいます。保護者には保護者会（父母の会）の役員に重要な意思決定については報告し、保護者会（父母の会）で全保護者に説明しています。また、園内で決定メンバーを設定し、改善課題の検討を図り、指導力を発揮しています。

●くるみ保育園では、スーパーバイズのできる主任クラスの育成について、主任の業務に該当する職員がキャリアアップ研修等の外部研修に参加して研鑽を図り、育成に努めています。主任は園長の補佐となり、各クラスの状況を把握し、職員個々の心身に配慮し、職員一人一人の能力や経験に応じて助言や指導を行い、パイプ役となって円滑な業務に向けて尽力しています。

評価



評価の理由（コメント）

●園の運営面に直接影響ある取り組みでは、園長、副園長は区の園長会に出席して情報を収集し、また、泉区役所からのメールや、厚生労働省の保育に関する動向・情報を入手し、他インターネット等で得た情報を分析しています。園長は、得た情報から特に、事故等の情報について職員会議で全職員に周知し、園に置き換えて見直しを図り、改善に取り組んでいます。

●くるみ保育では、開設時の定員60名から待機児童解消に向けて130名へと増加した経緯があり、長期計画として定員を見直し、「小さい子が主役のかわいい保育園」を目指していく予定です。また、今後、本格的な中期計画を策定し、実施に向けて取り組んでいく所存です。

30年度 福祉サービス第三者評価 本人（園児）調査結果報告書

くるみ保育園

調査日程	平成30年9月3日・4日
保育観察	保育園を調査者2名で訪問し、全クラスの視察、観察を行いました。生活環境の保育観察を行い、午睡の様子と保育観察を継続する中、食事場面も同席して子どもと保育士とのかわり等を観察し、食事の様子の観察を行いました。各年齢については1日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。

評価調査当日は丁度、台風21号が日本列島を直撃中の最中で風も非常に強く、評価調査訪問も交通手段を含め悪天候な状況での訪問となりました。保育観察については本来、戸外活動、園庭での遊びも観察させていただくところ、天候状況により、各クラスでの活動を観察することにいたしました。

<1日目のエクササイズ>

【5歳児】

1日目、運動会が近いこともあり、5歳児（さくら組）の運動会の練習を見学しました。練習場所は4歳児（うめ組）の保育室と5歳児の保育室半分を開放して広い空間で練習を行っていました。保育室では園庭の運動場をイメージして行われ、子どもたちは廊下側とテラス側に1列ずつ並んで保育士の指導を待って始まりました。保育士から「今日は初めての練習なので、色々動作から2、3つの動作を練習します」と説明があり、保育士が示しながら「手を上に上げる」、「しゃがんで座る」等、廊下側とテラス側にいる子どもたちに順番に指導を行い、何回か練習をそれぞれ行いながら、次に「お母さんやお父さんのいる方に向きます」と保育士から説明があり、練習を続けますが、子どもたちは、実際的な想定がわからなかったり、子ども同士でふざけ合ったりする様子も見られましたが、子どもたちが立つ両サイドに保育士が付いて、向く方向を「廊下!」、「テラス!」と示しながら動作の練習を行い、全員ができたところで、今日の運動会の練習を終えました。子どもたちは真剣な顔から緊張感がほぐれ、普段の笑顔に戻り、思い思いに遊びに入りました。

【4歳児】

朝は雨が降っていましたが、昼前には晴れて少し天気回復が見られたので4歳児は、5歳児の運動会の練習に保育室を明け渡して園庭に出ました。園庭で跳び箱等をして遊び始めました。子どもたちに「何段飛べるの?」と聞いてみると「う〜ん」と言っていました。園では、跳び箱を飛べることよりも、跳び箱の前に立って先ず跳び箱に馴染む、跳び箱に乗ることを目的に行い、跳び箱に飛び上がって反対側に降りる練習をしていました。台風の束の間の運動に、子どもたちも運動ができて嬉しい表情が見られました。園庭は水はけのよい細かい砂利を含んだ土に改良され、朝の大雨でも園庭遊びができました。

<1日目の食事>

1日目の昼食は、子どもたちと一緒に楽しく給食をいただきました。食事風景では、子どもたちはテーブルをセットされた後に、自分の登園カバン（リュック）を椅子に掛けてから食事テーブルに着き、食事を始める時にカバンから自分の箸、フォーク、スプーンのセットを取り出してテーブルに置いてから食事をスタートします。食べ終わると箸箱をカバンにしまい、歯ブラシを取り出します。食事に必要な個々に合った食具をカバンから出し、食後はカバンに片づけるという一連の流れができており、子どもたちも当たり前のようにきちんとしていました。1テーブルに4人で着席して食事を行い、食べ終わった食器はテーブルの中央に重ねた上で全体の食器を集める場所に子どもたちが運んでおり、食事のマナーの一環として習慣化されていました。食事中は、楽しく会話しながらおいしい食事に満足し、和やかな雰囲気ですぐに食事が進みました。

<2日目の午睡の風景>

午睡では、3歳児の2クラスと5歳児の2クラスで、3歳児（ゆり組）と5歳児（さくら組）の異年齢と、3歳児（ばら組）と5歳児（もみじ組）の異年齢のグループに分かれ、昼食時から一緒に活動しており、午睡も異年齢で実施しています。午睡後も16:00の「さようならの会」まで共に過ごしています。くるみ保育園の異年齢の取り組みを午睡スタート等、生活の様子をそれぞれ観察しました。

【0歳児】

0歳児（ひよこ組）の保育室はベランダに沿って玄関と事務所の間に設置され、独立した保育室です。6名の子どもたちを3名の保育士で保育にあたっています。0歳児の子どもたちは皆とても元気で笑顔いっぱいです。調査者が保育室を訪れてもあまり人見知りもせず、ニコニコとこちらをみて陽の当たる場所で転がって遊んでいます。独立した保育室で安心して保育士に見守られながら、抱っこしてもらったり、保育士の胸に顔をうずめたりして甘える素振りなども見られました。午睡は11時半くらいから早めに寝ついていました。

【1歳児】

1歳児の保育室は中庭を挟んで廊下の先に横長に設けられ、ルームインルームの構造となっており、大きい部屋の中に、睡眠スペースの小さい部屋が作られた構造であり、大きい部屋の方にテーブルを置いて食事、遊びのスペースとし、寝食を分けた余裕ある構造になっています。1歳児の保育室も独立性の高い部屋で、子どもたちは伸び伸びと自由に遊び、保育士に絵本を読んでもらった後、睡眠スペースで静かに確保された部屋で眠りについていました。午睡明けに訪れると、睡眠スペースから一人一人が起きてきて、大きい部屋の窓際に設置された「おまる」に座っていました。現在、トイレトレーニングの前段階で、みんなオープンに「おまる」に座り、他児の真似をして徐々にできるようになってきています。

【2歳児】

1歳児の保育室に並び、2歳児（すみれ組とあやめ組）の保育室が設けられており、一番奥にはトイレが設置されていました。玄関正面にもトイレが設けられていますが、幼児がラッシュアワーの時には2歳児保育室の奥のトイ

れも使用する等、年上の子どもと交流を持ちながら、守られた保育室であると同時に開かれた保育室でもあり、幼児へのステップとして理想的な環境で、2歳児の子どもたちは過ごしています。保育室は幼児の保育室と離れており、常に落ち着いた環境が確保され、その中で子どもたちは様々な生活習慣をゆっくりと覚えることができています。2歳児の食事では独立して給食を摂り、片付けを覚え、みんなでお掃除をした後、お布団を敷いて午睡に入ります。一番奥の保育室で静かに、同じ年齢で仲良く親密に生活が守られ、寝床では絵本の読み聞かせを保育士にしてもらい、静かに寝入っていました。

【3歳児（ゆり組）と5歳児（さくら組）】

3歳児（ゆり組）の活動はくるみ保育園の中で最もユニークです。午前の活動を終わると5歳児（さくら組）へ行く準備を行い、一緒に食事をして午睡ができるように、寝具をワゴンに乗せて保育士が運びます。ワゴンの後を1列になって子どもたちが付いて行き、1歳児（ひよこ組）、事務所、4歳児（うめ組）の保育室の横を通過して5歳児（さくら組）の保育室に入ります。5歳児と一緒に好きな場所のテーブルに付いて給食を摂り、寝間着に着かえ、脱いだ服は自分の袋に入れてワゴンに入れます。ワゴンの中には5歳児の箱が設けられ、5歳児も服の袋も入れられるようになっています。寝間着に着かえてお布団に入り、食事からさよならの会までこの異年齢で過ごし、年上の子どもに学び、年下の子どもに教える等、相互に良い関係作りができており、「○○ちゃん、それはこっちに置くんだよ」、「○○ちゃんはそっちね」等、進んでお世話をしている姿が見られました。

【3歳（ばら組）と5歳児（もみじ組）】

3歳児（ばら組）と5歳児（もみじ組）の保育室は隣同士なので、食事・午睡時は、食事の部屋、睡眠の部屋とし区別して活用して異年齢で過ごしています。ワゴンでの工夫はないものの隣同士の保育室のメリットを生かし、様々な効果的なやりとりが成されています。もみじ組の5歳児はばら組の3歳児の子どもの面倒を喜んで良く見えています。3歳児も5歳児に甘えて、お兄さん・お姉さんのように慕い遊んでいる姿が見られ、5歳児を見上げる表情もあこがれの眼差しが見受けられます。日常的な異年齢の積み重ねで同年代では経験できないことを体験したり、良い関係作りができています。

【4歳児】

4歳児（うめ組）の保育室は大きな保育室を単独で活用していますが、隣の3歳児（ゆり組）と5歳児（さくら組）とはパーテーションで仕切られており、少しパーテーションを開けて交流ができるように工夫しています。5歳児（さくら組）とは保育中にも音楽等、共有したり、3歳児（ゆり組）も4歳児の保育室に迎えて交流を行っています。

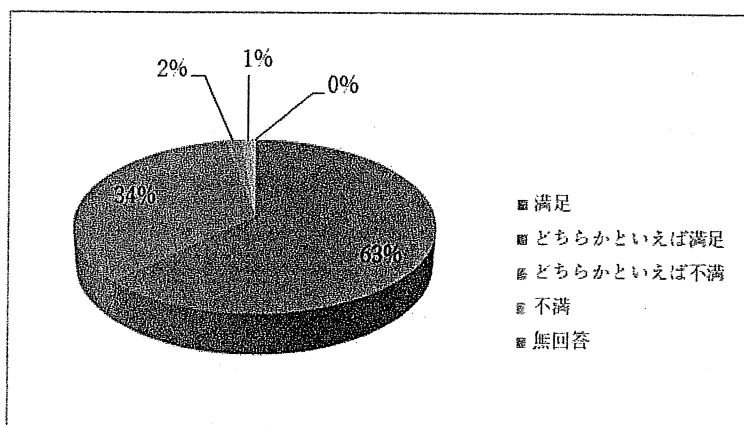
くるみ保育園の子どもたちはみんな素直で元気いっぱいであり、各年齢同士の交流も活発に行われ、年齢に応じた保育環境の中で大切に、健やかに育まれていました。

【くるみ保育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	平成 30 年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配付世帯数 (世帯数 94)
有効回答数	67 世帯
世帯総数に対する回答者割合 (%)	71%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
5 世帯	11 世帯	16 世帯	9 世帯	12 世帯	14 世帯

* 回答があった利用者満足度の内訳 (%)



●利用者アンケートの特徴として、日常の保育内容についての「遊び」についての項目が、総体的に『満足』が高く、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、「ほぼ満足」という）見ると、中でも「園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について」、「お子さんが大切にされているか」については、「ほぼ満足」は98%を得ています。『満足』に特化した高い項目では、「見学の受け入れについて」、「おむつはずしは家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか」についての2項目が『満足』、76%となっています。「ほぼ満足」とする高い項目では、上記「ほぼ満足」の2項目（98%）と、「施設設備について」、「お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているか」ついてが、「ほぼ満足」として97%を示しています。また、「年間の保育や行事についての説明」、「クラスの活動や遊びについて」、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているか」について、「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」の4項目についても、「ほぼ満足」は96%を得ています。他の項目についても「ほぼ満足」については比較的高い評価を得ています。

●アンケートの自由記述からは、各年齢の保護者がくるみ保育園について、「いつも細かく様子を伝えてくれる」、「子どもが先生（保育士）に懐いているようで楽しく通えている」、「子どもを迎えに行くと、楽しそうに1日のできごとを話してくれる」、「住民地の中にあるので、車や園児の声に対する住民の配慮はいつもありがたい」、「先生（保育士）方含め、保育園全体の雰囲気が良く、安心していきます」、「広い園庭、美味しい給食、愛情たっぷりの優しい先生（保育士）方いて素晴らしい園です」等、喜びと感謝の意見が多く挙がっています。

●『不満』および、『満足』が低い項目では、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」についてが、『不満』16%と中でも特化しています。『満足』として低い項目では、「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換について」が挙げられます。送迎時に話をいただけるとした満足を得る保護者もありながら、全体的には送迎時での情報交換については希薄さを感じているという結果になっています。

●アンケートの主な意見では、「門のセキュリティーを強化してほしい」、「常に忙しそうにしているので、顔を合わせる時間がない」、「感染症の情報提供がなかったので、これからはすぐに周知してほしい」、「日頃の子どもの様子等、個別でうかがう機会があると良い」等の意見が挙がっています。全体的に満足している項目が多い中、お子さんの様子、子どもにかかわる情報、園との情報交換等について、今後、さらなる工夫が求められます。また、日々の振り返りと見直しを図る機会を設け、園の良い点を生かし、継続してより良い園作りへの取り組みを期待いたしております。

●保育園の「基本理念や基本方針について」では、よく知っているが28%、まあ知っている66%、どちらともいえない4%、あまり知らない1%という結果になっています。しかし、それらの賛同については、賛同できる78%、まあ賛同できる15%、どちらともいえない1%、無回答6%にて、93%がくみ保育園の基本理念、方針について「ほぼ賛同」を示しており、園、保護者が一体になって保育が進められていることがアンケートからもうかがえる結果がでています。

●総合的に、『満足』は63%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は34%、『どちらかといえば不満』1%、『不満』1%にて、サービスの提供について、97%が「ほぼ満足」していると捉えることができます。

調査結果

社会福祉法人くるみ保育園

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・ 保育方針をご存知ですか (人)	よく知って いる	まあ知って いる	どちらとも いえない	あまり知ら ない	まったく 知らない	無回答
(%)	19	44	3	1	0	0
	28%	66%	4%	1%	0%	0%



付問1 あなたは、その保育目標や保育 方針は賛同できるもの (人) だと思いますか (人)	賛同できる	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同でき ない	無回答
(%)	52	10	1	0	0	4
	78%	15%	1%	0%	0%	6%

■ 保育園のサービス内容について

問2 入園する時の状況について

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
問2-1 見学の受け入れについては	51 76%	11 16%	1 1%	0 0%	4 6%	0 0%
<ul style="list-style-type: none"> ・見学していない。(2) ・姉が通園していたので見学していません。 ・覚えていない 						
問2-2 入園前の見学や説明など、園 からの情報提供については	47 70%	15 22%	1 1%	1 1%	3 4%	0 0%
<ul style="list-style-type: none"> ・説明会に行っていない。 						
問2-3 園の目標や方針についての 説明には	45 67%	18 27%	2 3%	0 0%	2 3%	0 0%
<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日が仕事のみでの預かりで不満。(母通院、兄弟学校行事等) ・説明会に行っていない。 						
問2-4 入園時の面接などで、お子さん の様子や生育歴などを聞く対応 については	42 63%	18 27%	1 1%	0 0%	5 7%	1 1%
<ul style="list-style-type: none"> ・特に面接等の機会はなかったように思います。 ・面接はなかった。(4) ・覚えていない。 ・特になし。 						

問2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には	42	21	1	1	2	0
	63%	31%	1%	1%	3%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・1日の過ごし方は聞かされない。 ・覚えていない。 ・1日の過ごし方の説明がない。 						
問2-6 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)	43	19	1	0	4	0
	64%	28%	1%	0%	6%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・写真代がなくなり不安な点が多い。 ・覚えていない。 ・不満ではなかったが、1年ごとに変わるので、変更の説明がなかったこともあった。 ・どんどん料金が上がっている。 						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
問3-1 年間の保育や行事についての説明には	44	20	2	0	1	0
	66%	30%	3%	0%	1%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・当日になって知らされるケースが多い。 						
問3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	30	29	4	0	4	0
	45%	43%	6%	0%	6%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・特に要望をしていない。 ・はやり病時の対処がなっていない。 ・満足しているため、特に要望がない。 ・わからない。 ・入ったばかりなので、わからない。 						

問4 日常の保育内容について

「遊び」について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
問4-1 クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	50	14	2	0	1	0
	75%	21%	3%	0%	1%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し外遊びを増やしてほしい。 ・2歳児なので制限があるのはわかるが、希望する、すべり台やブランコも使わせてほしい。 ・毎日楽しそうにお話してくれます。 						

問4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについては	49	15	2	0	1	0
	73%	22%	3%	0%	1%	0%
・洋服が汚れるほど、遊んでいるようです。						
問4-3 園のおもちゃや教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）	46	14	3	0	4	0
	69%	21%	4%	0%	6%	0%
・どんなおもちゃ、教材があるのかよくわからない。 ・部屋に入ることがないので、どのようなおもちゃがあるかわからない。(3)						
問4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	45	14	2	1	4	1
	67%	21%	3%	1%	6%	1%
・少ないと思う。 ・よくわからない。(2) ・2歳児なのでまだないと思う。 ・まだ園外活動はしていないはず。(2歳なので)						
問4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	44	20	1	1	1	0
	66%	30%	1%	1%	1%	0%
・どちらでもない。 ・楽しそうに話してくれます。						
問4-6 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	44	20	1	0	2	0
	66%	30%	1%	0%	3%	0%
・わからない。 ・気にしたことがないので、わからない。						

「生活」について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
問4-7 給食の献立内容については	43	21	3	0	0	0
	64%	31%	4%	0%	0%	0%
・年長になると足りていない。(肉や魚などメインが) ・少ないとよく聞く。						

問4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては	46	15	3	2	1	0
	69%	22%	4%	3%	1%	0%
・完食することが多いらしいが、よくわからない。						
問4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	48	16	3	0	0	0
	72%	24%	4%	0%	0%	0%
問4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	45	16	3	1	1	1
	67%	24%	4%	1%	1%	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・寝不足でもルールに従うべき。 ・3歳児以上のお昼寝はいらなと思う。 ・不安がある。(帰ってくると疲れ切っている。喉が渇いている。休憩は足りているか？水分足りているか？) 						
問4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	51	9	0	0	5	2
	76%	13%	0%	0%	7%	3%
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、はずしていません。 ・まだ、取り組んでいないのでわからない。 ・はずれた状態で入園したため、不明。(2) ・まだ通っていませんでした。 						
問4-12 お子さんの体調への気配りについては	43	20	2	1	1	0
	64%	30%	3%	1%	1%	0%
・過敏になりすぎている。						
問4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	39	16	6	1	5	0
	58%	24%	9%	1%	7%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな怪我をしたことがない。 ・骨折がよくある保育園。「見てませんでした」の一言。 ・まだ、怪我がないため不明。 ・大変だなと思う。 						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
問5-1 施設設備については	46	19	1	0	0	1
	69%	28%	1%	0%	0%	1%
・セキュリティーに心配がある。(園門等)						
問5-2 お子さんが落ちついて過ごせる 雰囲気になっているかについて は	50	15	1	0	1	0
	75%	22%	1%	0%	1%	0%
・保育園が好き過ぎます。 ・仕方がないことですが、改装中なことが多い…						
問5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ 対策については	18	22	11	11	5	0
	27%	33%	16%	16%	7%	0%
・対策法をあまりしらないです。 ・よくわからない。(2) ・先生方みなさんが、保護者の顔を覚えていてすごいと思います。ですが、入口の門から知らない人が急に入ってきた場合、ちょっと怖いと思いました。 ・誰でも入れる。 ・全くやっていないと思う。 ・どちらとも言えない。対策をしているとは思えない。						
問5-4 感染症の発生状況や注意事項 などの情報提供については	33	24	8	1	1	0
	49%	36%	12%	1%	1%	0%
・わかりやすいです。 ・保健だよりなどで知らせてくれる。 ・事後報告が多い。						

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
問6-1 保護者懇談会や個別面談など による話し合いの機会に ついては	36	21	7	0	3	0
	54%	31%	10%	0%	4%	0%
・個別面談の機会があると嬉しい。 ・懇談会はあるが、個人面談はない。 ・まだ、入ったばかりでしてない。 ・時間を変えてほしい。14時30分だと、仕事に影響する。						
問6-2 園だよりや掲示などによる、園 の様子や行事に関する情報 提供については	49	17	0	1	0	0
	73%	25%	0%	1%	0%	0%
・予定は記載してあるが、時間の記載がなく当日知る。						

問6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については	36	21	4	2	4	0
	54%	31%	6%	3%	6%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し土曜か日曜にしてほしい。 ・土曜日が多すぎる。土曜日勤務なので、対応が難しい。 ・一方的。 ・わからない。 ・時間帯についての情報提供は、早めにしてほしい。仕事の都合をつけるため、最低1ヶ月前には知りたい。 						
問6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	26	28	7	3	2	1
	39%	42%	10%	4%	3%	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・2歳までは、情報が不足気味に感じたが年少からは、特に気にならなくなった。 ・送迎時、先生と話す機会がありません。 ・いつも同じ言葉。 						
問6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	32	27	6	1	1	0
	48%	40%	9%	1%	1%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・連絡がきたことがないからわかりません。 						
問6-6 保護者からの相談事への対応には	33	30	0	3	1	0
	49%	45%	0%	4%	1%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・相談したことがないのでわかりません。 						
問6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	42	16	1	1	7	0
	63%	24%	1%	1%	10%	0%
<ul style="list-style-type: none"> ・不明。 ・時間外は利用したことはありません。 ・そのような状態になったことがない。 ・まだ、18時30分以降になったことがないのでわかりません。 ・わからない。(2) 						

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
問7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては	41 61%	25 37%	1 1%	0 0%	0 0%	0 0%
<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生が好き過ぎます。 						
問7-2 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	45 67%	19 28%	3 4%	0 0%	0 0%	0 0%
<ul style="list-style-type: none"> ・大満足の様です。 						
問7-3 アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	30 45%	19 28%	0 0%	0 0%	16 24%	2 3%
<ul style="list-style-type: none"> ・不明。 ・アレルギー、障害等特にないため。 ・アレルギーではないのでよくわからない。(11) ・特に聞いたことがない。(2) ・アレルギーある子がいるかも知りませんので、対応などもわかりません。(2) 						
問7-4 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	43 64%	19 28%	2 3%	2 3%	1 1%	0 0%
<ul style="list-style-type: none"> ・相談した人は、モンスターペアレントとして扱われる。 						
問7-5 意見や要望への対応については	31 46%	28 42%	3 4%	1 1%	3 4%	1 1%
<ul style="list-style-type: none"> ・雑な保育園。一言多いと母親同士でよく聞く。今回も保育園に良い評価をと添えられてきました。 ・わからない。(2) 						

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
問8 総合満足度は	42 63%	23 34%	1 1%	1 1%	0 0%

